



2022年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月28日

上場会社名 カナレ電気
 コード番号 5819 URL <https://www.canare.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 (氏名) 中島 正敬
 (氏名) 祖父江 秀行
 TEL 0561-75-3001

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績(2022年1月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	8,131	11.9	740	4.3	807	7.9	537	5.3
2021年12月期第3四半期	7,265	3.5	710	19.4	748	19.9	510	15.9

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 1,015百万円 (42.0%) 2021年12月期第3四半期 715百万円 (129.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	79.70	
2021年12月期第3四半期	75.70	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第3四半期	17,642	15,516	87.9	2,298.84
2021年12月期	16,273	14,716	90.4	2,180.38

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 15,516百万円 2021年12月期 14,716百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期		13.00		17.00	30.00
2022年12月期		15.00			
2022年12月期(予想)				15.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想(2022年1月1日～2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,800	7.6	975	3.5	1,040	2.8	685	0.5	101.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期3Q	7,028,060 株	2021年12月期	7,028,060 株
期末自己株式数	2022年12月期3Q	278,514 株	2021年12月期	278,514 株
期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期3Q	6,749,546 株	2021年12月期3Q	6,749,546 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、慎重に策定しましたが、当社グループで現在入手可能な情報から得られたものを前提に策定しており、リスクや不確定要素が含まれております。実際はさまざまな要因の変化から、実際とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する説明	2
(2) 連結財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報)	7
3. 補足情報	9
海外売上高	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の当社グループを取り巻く経営環境は、新型コロナウイルス感染症による中国上海でのロックダウンが解かれ、日本でも新規感染者数がピークアウトするなどして全世界的に新型コロナウイルス感染症の影響が軽減しつつありますが、銅などの原材料価格の高騰による影響、またロシア・ウクライナ情勢によって原油高や物価高が進み経済環境の不安定な状況が続いております。

こうしたなか、当社グループは、光製品や電子機器の新製品普及活動、AVコンソール製品などの販促活動を積極的に行うとともに、ITネットワーク関連製品など新規製品の開発活動に取り組んでまいりました。

その結果、国内では予定されておりました地方放送局新社屋への納入が進むなど、増収となりました。海外では、中国で減収となったものの米国・韓国の業績好転や円安の為替影響もあって売上は増収、利益面でも増益となりました。

その結果、連結売上高8,131百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益740百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益807百万円（前年同期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益537百万円（前年同期比5.3%増）となりました。

主なセグメントの業績は、次のとおりであります。

(日本)

日本市場は、放送市場では物件規模の小型化が顕著となるなか、地方放送局やラジオ放送局のシステム更新物件は継続し、また公営競技場更新物件向け販売が堅調で、売上高は4,483百万円（前年同期比10.9%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い442百万円（前年同期比32.7%増）となりました。

(米国)

米国市場は、継続して新型コロナウイルス感染症や物流混乱の影響を受けておりますが、放送市場において番組制作の4K放送化更新需要増加に伴い現地ディーラ向け納入が堅調で、売上高は959百万円（前年同期比35.6%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い78百万円（前年同期比61.6%増）となりました。

(韓国)

韓国市場は、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減し、電設市場向けの納入が堅調でした。また、遅延しておりました放送市場の4K放送化更新物件が始まっており、売上高は757百万円（前年同期比24.6%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い100百万円（前年同期比166.7%増）となりました。

(中国)

中国市場は、新型コロナウイルス感染症のゼロコロナ政策による景気減速の影響を受け、計画されていたプロジェクトの延期が増加し、売上高は853百万円（前年同期比25.2%減）となりました。セグメント利益も減収に伴い109百万円（前年同期比50.4%減）となりました。

(シンガポール)

東南アジア市場は、新型コロナウイルス感染症の影響が徐々に軽減して、遅延していた物件の再開によるシステムインテグレータやディーラ向け納入が堅調で、売上高は357百万円（前年同期比36.0%増）となりました。セグメント利益も増収に伴い57百万円（前年同期比115.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する説明

当第3四半期末における財政状態につきましては、売上増加や円安に伴う海外子会社の売掛債権増加、評価単価上昇や円安に伴う棚卸在庫増加、子会社新工場建設などに伴う固定資産増加によって、資産合計は前連結会計年度末に比して1,369百万円増の17,642百万円となりました。負債合計につきましては、仕入増に伴う買掛金の増加、賞与引当金の増加、海外子会社のリース負債増加によって、前連結会計年度に比して570百万円増の2,126百万円となりました。純資産合計につきましては、親会社株主に帰属する四半期純利益計上による利益剰余金の増加と為替換算調整勘定の増加により799百万円増の15,516百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年7月28日の「第2四半期業績予想値と実績値の差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,782,346	9,622,737
受取手形及び売掛金	1,110,184	1,230,291
有価証券	—	99,170
商品及び製品	2,034,263	2,443,205
仕掛品	313,399	281,576
原材料及び貯蔵品	248,094	276,542
その他	387,766	439,040
貸倒引当金	△8,532	△9,807
流動資産合計	13,867,522	14,382,756
固定資産		
有形固定資産		
土地	781,118	798,249
その他	2,994,899	4,010,756
減価償却累計額	△2,396,177	△2,484,515
有形固定資産合計	1,379,840	2,324,490
無形固定資産	17,902	14,025
投資その他の資産		
その他	1,024,858	938,370
貸倒引当金	△17,112	△17,113
投資その他の資産合計	1,007,745	921,257
固定資産合計	2,405,488	3,259,772
資産合計	16,273,011	17,642,528
負債の部		
流動負債		
買掛金	498,350	681,166
未払法人税等	154,920	170,399
賞与引当金	83,544	167,419
役員賞与引当金	12,150	17,836
その他	629,640	822,382
流動負債合計	1,378,606	1,859,204
固定負債		
製品保証引当金	13,457	13,309
役員退職慰労引当金	43,305	49,230
退職給付に係る負債	19,467	21,550
その他	101,572	183,132
固定負債合計	177,803	267,222
負債合計	1,556,409	2,126,426

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,047,542	1,047,542
資本剰余金	1,175,210	1,175,210
利益剰余金	12,632,377	12,954,298
自己株式	△335,601	△335,601
株主資本合計	14,519,529	14,841,450
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,014	33,263
繰延ヘッジ損益	—	△2,206
土地再評価差額金	△371,051	△371,051
為替換算調整勘定	536,108	1,014,646
その他の包括利益累計額合計	197,071	674,651
純資産合計	14,716,601	15,516,102
負債純資産合計	16,273,011	17,642,528

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
売上高	7,265,669	8,131,878
売上原価	4,400,653	5,013,997
売上総利益	2,865,016	3,117,881
販売費及び一般管理費	2,154,507	2,377,162
営業利益	710,509	740,718
営業外収益		
受取利息	13,808	17,193
受取配当金	10,797	5,831
不動産賃貸料	2,500	3,942
為替差益	—	30,510
投資事業組合運用益	7,375	2,083
固定資産売却益	239	1,161
その他	12,704	14,608
営業外収益合計	47,426	75,329
営業外費用		
支払利息	1,094	1,547
不動産賃貸原価	3,301	4,333
為替差損	803	—
投資事業組合運用損	—	454
固定資産除却損	3,559	206
その他	312	1,823
営業外費用合計	9,070	8,364
経常利益	748,866	807,683
税金等調整前四半期純利益	748,866	807,683
法人税、住民税及び事業税	228,277	327,321
法人税等調整額	9,643	△57,544
法人税等合計	237,921	269,777
四半期純利益	510,944	537,906
親会社株主に帰属する四半期純利益	510,944	537,906

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	510,944	537,906
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,844	1,248
繰延ヘッジ損益	—	△2,206
為替換算調整勘定	178,441	478,537
その他の包括利益合計	204,286	477,579
四半期包括利益	715,231	1,015,485
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	715,231	1,015,485
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準等」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取り扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響はありません。

また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年1月1日至2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	4,042,539	707,719	607,928	1,140,364	72,122
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,988,337	—	—	634,547	—
計	6,030,876	707,719	607,928	1,774,912	72,122
セグメント利益又は損失(△)	333,297	48,784	37,747	220,619	3,747

	報告セグメント		その他(注)	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	262,774	6,833,450	432,219	7,265,669
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,622,885	1,702	2,624,587
計	262,774	9,456,335	433,921	9,890,257
セグメント利益又は損失(△)	26,523	670,720	37,569	708,289

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	670,720
「その他」の区分の利益	37,569
セグメント間取引消去	850
棚卸資産の調整額	△13,537
その他の調整額	14,906
四半期連結損益計算書の営業利益	710,509

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				
	日本	米国	韓国	中国	台湾
売上高					
外部顧客への売上高	4,483,660	959,382	757,420	853,328	115,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,091,474	—	—	499,682	—
計	6,575,135	959,382	757,420	1,353,010	115,426
セグメント利益又は損失(△)	442,264	78,820	100,679	109,472	19,981

	報告セグメント		その他(注)	合計
	シンガポール	計		
売上高				
外部顧客への売上高	357,449	7,526,668	605,210	8,131,878
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	2,591,156	—	2,591,156
計	357,449	10,117,825	605,210	10,723,035
セグメント利益又は損失(△)	57,037	808,255	46,326	854,581

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、インド、欧州及び中東の事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	808,255
「その他」の区分の利益	46,326
セグメント間取引消去	730
棚卸資産の調整額	△138,258
その他の調整額	23,664
四半期連結損益計算書の営業利益	740,718

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、第1四半期連結会計期間の期首から収益認識会計基準等を適用し、収益認識に関する会計処理方法を変更したため、事業セグメントの利益の算定方法を同様に変更しております。

当該変更による売上高及びセグメント利益に与える影響はありません。

3. 補足情報

海外売上高

前第3四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)

	米州	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	708,283	2,170,877	515,477	3,394,638
連結売上高(千円)	—	—	—	7,265,669
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	9.7	29.9	7.1	46.7

当第3四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)

	米州	アジア	その他の地域	計
海外売上高(千円)	959,382	2,187,518	659,537	3,806,438
連結売上高(千円)	—	—	—	8,131,878
連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.8	26.9	8.1	46.8

(注) 海外売上高は、顧客の所在地を基礎とし、地域によって分類しております。